

【 果樹編 】

共同選果でブランド確立!
リンゴ

JA管内では、岩手県オリジナル品種で県内一の栽培面積を誇る「紅いわて」や岩手を代表する「ジョナゴールド」などを栽培し、8月～12月まで長期にわたって出荷しています。また、農家のこだわり栽培から生まれた蜜入りふじ「賢治りんご」は全国からの需要が高く、ブランド化されています。

オススメポイント

その1 安心の技術指導!

JAや県農業改良普及センターなどでは、年間を通して栽培ステージごとに基本技術を学べる講習会を開催しています。実際に農家の圃場にて学習できるため、新規栽培者でも安心して取り組める品目です。

その2 共同選果でラクラク!

共同選果品目のため、農家はコンテナのまま出荷でき、選別に要する労力を他の作業管理に充てる事ができます。

主な品種

数多くある品種の中で、ブランド化されていて収益性が高い品種を紹介します。
○紅いわて(9月中旬～10月上旬) ○ジョナゴールド(10月)
○ふじ(11月) ○はるか(11月下旬～12月上旬)

栽培暦	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
摘花 授粉	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
摘果											
葉摘み・玉回し・収穫											
剪定											

目標収量
2,000kg/10a
目標販売額
44万円/10a

※樹齢8年の数値です

経費(10aあたり)
90,000円
(肥料・農薬代、燃料代、資材代など)

摘果や葉摘みなどの手作業が多いですが、その分しっかりと手を掛ければ掛けるほど品質に結果として表れるので、やりがいを感じます。また、豊かな自然の中で働ける事もリンゴ栽培の大きな魅力です。



果樹部会
昆野幸作 部会長

※目標収量・販売額、経費は目安です。経費には別途、流通経費がかかります

JAいわて花巻の農家支援&PR活動



JAでは、農家所得増大と農業生産拡大に向けて農家の支援活動や農畜産物のPR活動に取り組んでいます。営農指導員による個別指導やTAC訪問による担い手の支援のほか、地域の中核農家が指導にあたる「農の匠」など、工夫を凝らした活動を展開しています。また、管内市町行政と連携したトップセールスや子どもたちへのプレゼントなど、積極的にJA管内の農畜産物のPR活動を行っています。



園芸品目の栽培に挑戦してみませんか?

JAでは、園芸品目の新規栽培や生産拡大を考えている方々向けに、個別相談会や説明会、ほ場見学会を定期的に開催しています。



個別相談会

JA職員や県農業改良普及センターの職員が、個別に品目の特徴や作業内容、助成制度などについて詳しく説明するほか、皆様が抱えている疑問に丁寧に答え、一人一人に合った内容を提案します。



ほ場見学会

実際にほ場に出向き、ほ場の見学や栽培している農家から話を聞きます。実際に栽培している農家だからこそ、栽培方法や農業機械など具体的な話を聞くことができ、栽培のイメージが湧きやすいです。

※新規栽培者向け説明会やほ場見学会などを開催する際には、広報誌「ぼらーの花巻」やJAいわて花巻ホームページで随時お知らせ致します。
お問い合わせ/営農部園芸販売課 ☎0198-22-6217、北上地域営農センター園芸販売課 ☎0197-71-1333
西和賀地域営農センター米穀園芸販売課 ☎0197-85-3301、遠野地域営農センター園芸販売課 ☎0198-62-9559

国内トップクラス! / 【 花き編 】



花きの新規栽培にオススメ!
カンパニユラ

当JAのカンパニユラは、国内トップクラスの販売額と品質を誇ります。青紫や白、ピンクなど多様な色があり、釣鐘の形をしている事から別名ツリガネソウとも呼ばれています。カンパニユラは寒さに非常に強い品目で、JAでは広域推進品目として推進しています。

オススメポイント

その1 収益性が高い!

小面積でも収益性が高いほか、薬剤散布も最小限のため新規栽培でも取り組みやすい品目です。また、春先の換金品目として有望な品目です。

その2 秋定植の春出荷!

カンパニユラは秋に定植し、翌春に出荷する品目です。そのため、夏や秋に出荷する品目と出荷期が重なりません。

栽培ポイント

- ①ほ場は排水性が良く、残肥の少ない土壌が適切
- ②植床は日当たりがよい場所を選ぶ
- ③定植後から11月までは多少多めに灌水を施す

栽培暦	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
ハウス		定植 ←				生育				収穫 →
露地		定植 ←				生育				収穫 →

目標収量
9,000本/2a
目標販売額
50万円/2a

経費(2aあたり)
25,000円

苗代	25,000円
肥料代	18,000円
資材代	66,000円
合計	109,000円

他の品目と比べて収穫量が多く、単収が高いのが特長です。更に、栽培が難しくないので取り組みやすい品目です。頑張れば頑張るほど、きれいな花として結果が目に見えてくるので、やりがいもあります!



花き部会
高橋誠 部会長

※目標収量・販売額、経費は目安です。経費には別途、流通経費がかかります



オリジナル品種が多数!
リンドウ

切花リンドウは、JAいわて花巻の切花取扱高の半数以上を占めている重点品目です。岩手県で育成されたオリジナル品種が多数あり、西和賀町では「西和賀オリジナル品種」を12種類栽培しています。

オススメポイント

その1

労働力が比較的少ない!

労働のピークは収穫期のほか、株立てや薬剤散布、秋じまい作業などですが、薬剤散布以外の作業は女性でもしやすい軽作業が多いです。

その2

植え替えの必要がない!

定植後に株養成期間として1年～2年を要しますが、その後は植え替えせずに数年間収穫が可能です。

その3

収穫時期の選択ができる!

リンドウは品種ごとに開花時期が決まっているため、労力分散を図る事ができます。

栽培ポイント

- ①ほ場は水はけのよい水田転作田が望ましい。また、日当たりや風通しがよく、自宅に近い場所が理想的
- ②夏期間は毎週農薬散布が必要

栽培暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目						←定植→				←生育→	刈り払い	
2年目以降				←生育→			←収穫→		←生育→	刈り払い		

目標収量
30,000本/10a
目標販売額
135万円/10a

※3年目以降の数値です

経費(新植・10aあたり)
280,000円

苗代	280,000円
肥料・農薬代	69,000円
資材代	25,000円
合計	374,000円

一度定植すれば、4年～5年間は収穫できるのがリンドウ栽培のメリットです。また、花持ちが良く、長い期間にわたって楽しむ事ができるのが魅力。たくさんの方々に楽しんでほしいです!



西和賀花卉生産組合
高橋文昭 組合長

※目標収量・販売額、経費は目安です。経費には別途、流通経費がかかります